

市民のくらしを守るため、大奮闘

子どもがいる世帯の国保料が軽減に

昨年の保険料算定方式の変更で、主に子どもがいる世帯の保険料が大幅増に。日本共産党は、早急に保険料の軽減措置を行うよう市長に申し入れるとともに、議会でも取り上げてきました。

本年度予算に、子どもがいる世帯の保険料軽減が盛り込まれました。

国でも市でも保険料の引き下げを要求

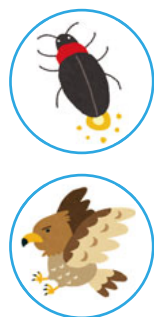
日本共産党は、国では国民健康保険に対する国の負担を増やすよう要求。市でも一般会計から繰り入れて保険料を下げるよう求めています。



みどりを守れの声を代弁

瀬上の森は、ホタルやオオタカが観察される貴重な緑です。ここの開発計画が再三持ち上がり、東急建設は今年1月に市に許可申請を行いました。

緑を守りたいという地域のみなさんは、市に緑地保全を求め11万筆の署名を提出。日本共産党も議会でとりあげるなど、地域のみなさんの運動と連携してきました。



放射能汚染された下水汚泥焼却灰を埋め立てるな

横浜市は、福島第一原発事故後、放射能に汚染された下水汚泥焼却灰を汚泥資源化センターで保管していましたが、保管場所がいっぱいになったため、今後発生する分を埋立地である南本牧ふ頭の陸上部分に埋め立てる計画です。これに対し、港運協会などの港湾関係者が猛反対しています。

日本共産党は、港湾で働く人たちも土地も被曝から守れず、輸出入貨物の横浜港離れにもなると指摘し、国と東電の責任で処理する方向で見直しを求めています。



よくぞ

質問してくれた！

大貫憲夫議員が予算特別委員会で下水汚泥焼却灰の埋立問題を取り上げた翌日、党控室に港運協会藤木会長から電話が。自分たちの気持ちを代弁してくれたとお礼の言葉がありました。

市民アンケートにご協力をお願いします



ホットな市政問題や、安心・安全のまちづくり、高齢者・介護、子育ての分野についてのご要望、地域での要求などについて、市民のみなさんのご意見をお寄せ下さい。予算要望や議会での質問に生かし、市政に反映させていきたいと考えています。

別紙のアンケート用紙にご記入の上、添付の封筒に入れて投函してください。

アンケート結果は、「横浜市政新聞」や党市議団ホームページなどでお知らせします。

市民要求の願い実現に向けて、積極的に提案する **日本共産党**

立ち遅れている 子育て・教育施策などの充実を

- 横浜環状道路北西線・南線各整備事業の凍結
 - 南本牧ふ頭建設事業の凍結
 - 上大岡西口再開発事業費への繰入金を1/3に縮減
 - 新市庁舎整備計画執行経費の全額カット
 - カジノを含む統合型リゾート検討費の全額カット
- などで **133億6000万円** を捻出

財源はあります

日本共産党は今年も予算組み替え動議を提出。これまでの市民アンケート結果も生かし、不要不急の公共事業をやめて、必要性が高く、市民要望も多い施策を実施するよう、求めました。

- 中学校給食
 - 小学3年生まで35人学級
 - 小児医療費を小学2年生まで無料に
 - 特別養護老人ホーム建設
 - 同報型防災行政無線の設置
- などを **実施**



今年も市民が植えたチューリップが見事に花を咲かせました＝横浜公園



古谷やすひこ議員 (鶴見区)

y-furu3941@triton.ocn.ne.jp



白井まさこ議員 (港北区)

mail@shirai-masako.jp



あらかきゆみこ議員 (南区)

mail2@araki-yumiko.jp



あらいひろし議員 (副団長・戸塚区)

mail@iwasaki-hiroshi.jp



大貫憲夫議員 (団長・青葉区)

n-ohnuky@khh.biglobe.ne.jp

無料法律相談

市政、法律、交通事故、年金、金融、土地、住宅、教育、その他

要予約

とき 毎週水曜日午後1時30分～3時 ところ 横浜市役所内 日本共産党議員控室

TEL045(671)3032

◎相談は同一案件につき3回までです。なお8月はお休みさせていただきます。

市政へのご意見・ご要望は日本共産党横浜市議団へ

横浜市政新聞

2014年 春季号外 日本共産党横浜市会議員団
横浜市中区港町1-1 市役所内 TEL045(671)3032 FAX045(641)7100

ホームページをごらんください

横浜市議団 検索